

## K 4-G P 競技規定

2017 年 5 月改訂 (2017 年 8 月から適用)

**K 4-G P は大会ごとに設けられた燃料規制の中でいかに効率よく走れるかを競うエコランです。**

**モータースポーツを安全に楽しむための競技であり、速さに重きをおく競技ではない。**

参加者は、以下の規定を熟知し、順守しなければならない。

### 1. クラス分け

LD-GP1 : AT 車両に限る (トルコン車・C V T 車等、車体形状は問わない)

LD-GP2 : 850cc 未満 NA / 量産ベースのハコ車に限る

LD-GP3 : NA 換算 850cc 以上 過給機付き / 量産ベースのハコ車 (HV 車両を含む)

LD-GP4 : R 車両 850cc 未満

LD-GP5 : R 車両 850cc 以上

※過給換算は、排気量×1.5 ロータリー換算は、排気量×1.2

※大会ごとに必要に応じてクラスを追加する場合あり

### 2. ライセンス

大会規則の周知の為 (トラブル等を未然に防ぐ為)、K4-GP ライセンスの取得が義務付けられている。

事前に年度更新した、有効な K4-GP ライセンスが無いとドライバーとして当イベントには参加出来ない。

ライセンスは事前の講習会を受けて取得すること。

講習会の受講には、所定の申込用紙、顔写真 1 枚 (2.4cm×3cm)、受講料 6,000 円 (年間保険料を含む) が必要となる。

ライセンスはいつでも提示できるように、腕ベルトの中に入れて携帯すること。

イベント中は、ドライバーは常に (走行中以外も) ライセンスを携帯しておくこと。

有効な FISCO ライセンス保持者は、施設破損の免責が適用になるため一緒に携帯する。

ライセンス未取得者の参加が発覚した場合、そのチームは即時退場となる。また、チーム及びそのチームのライセンスホルダーは永久追放となる。

### 3. チームリーダーについて

- ・K4-GP ライセンスを保持した、チームリーダーとチームリーダー代理を必ず置くこと。  
(ドライバー兼務可)
- ・チームリーダーもしくはチームリーダー代理は、リーダーミーティングに必ず出席すること。  
(遅刻及び欠席の場合には、ペナルティの対象となる。)
- ・チーム内での主催者への苦情等はリーダーが文書にして、主催者に提出すること。
- ・チームリーダー及びチームリーダー代理は主催者の準備したマークを付けること。
- ・チームリーダーはチーム及びヘルパー・応援者を含めたチーム員の全責任を負うこと。

### 4. 信号旗

#### 黄旗

走行中に黄旗が提示された場合は、追い越し禁止。  
違反した場合はペナルティを科す。

#### 黒旗

ゼッケン No. と同時に提示される。  
当該車両は提示されてから 30 分以内にペナルティエリアに入りスタッフの指示に従うこと。  
この時、装備品違反等ピットでの対応が必要な違反を除き、ピットに停止してはならない。  
よってピット作業及びドライバー交代は禁止され、違反時はペナルティ未消化として、再度ペナルティを科す。

#### オレンジボールのついた黒旗

ゼッケン No. と同時に提示される。  
オレンジボール黒旗が出た場合、当該車両は 3 周以内にペナルティエリアに入り、指示を受けること。

#### 赤旗

走行中赤旗が提示された場合、全ての計時が止まる。  
走行車は提示後、追い越し禁止とし、コース上の計測ライン（メインフラッグタワー手前の線）を先頭に、交互に 2 列で整列すること。  
追突注意！ピットロード入口、給油所入り口は赤旗提示と同時に閉鎖となるため、走行車両はピットに入れない。  
ピットインと給油を予定していた車両は、ピットロードの計時光電管手前を先頭に 1 列で並ぶこと。  
すでにピットまたはピットロードに入っていた車両の作業の継続は可能。作業終了後にピットロードエンド信号手前で待機（再スタート時ピットエンド信号に従いコースイン）。  
再スタートは、セーフティカー先導によるローリングスタートとなる。

## 5. 発信機（トランスポンダ）

- ・取り付け場所は富士スピードウェイ指定場所とする。
- ・走行終了後、コース上で速やかに返却する事。（表彰式の前に回収します）
- ・マイトランスポンダは富士スピードウェイの計時システムに影響がある為、全面使用禁止。
- ・リタイヤした場合には、車両が戻り次第速やかに本部に返却すること。
- ・発信機を破損または紛失した場合は、各自の負担で弁償となる。

## 6. 給油

- ・給油の停止時間・1回の給油量・給油回数・給油総量はイベント毎のレギュレーション（当日配布を含む）によって変化する。
- ・給油所はゴール1時間前で閉鎖される。（時間変更の場合あり）。
- ・全車に規定の停止時間を設ける場合がある。
- ・給油中はエンジンを停止すること。エンジン停止後給油を開始する。
- ・給油口オープナーのある車両については、ドライバー自身で給油準備の操作できること。
- ・給油エリア内ではドライバー交代を含む全ての作業は禁止。
- ・競技車両以外、給油ルートにはいかなる場合も立ち入りをしてはならない。  
（特別な事情がある場合には、本部に許可を得ること）
- ・給油ルートの速度制限は30km/hとする（速度に関しては主催計測）。  
スピード違反は運転していた個人に対して、1回につき反則金5,000円を徴収する。

## 7. セーフティカー（SC）

- ・セーフティカーは、先頭車両の位置に関係なく導入される。
- ・セーフティカーが入った場合、各車は交互に2列の隊列を作って前走車との距離を5車身以内に保って走行すること。（前車両との距離が目に見える場合には、迷惑行為との判定をする場合があり、ペナルティの対象とする。）
- ・SCラン中のウェービングは危険行為と見なし、禁止する。
- ・隊列についていけない車両は、明確にコースの両サイドに避けて走り、後続車を先行させる合図を送る事。

## 8. スタート

- ・1000km/10時間のスタートは変則ルマン式（その他はローリングスタートになる）。  
500km及び冬においてはローリングスタート
- ・1000km/10時間のスタート時は、スタート要員（1名）とドライバー（1名）の計2名必要。
- ・ドライバーは車両に乗り出走状態で待機（1分前よりエンジンはかけた状態で構わない）スタート要員がコースの反対側より車両に駆け寄り、車両に貼り付けられたスタートステッカーを剥したら走行可能となる。

車両が1コーナーに向いた時点で追い越し禁止となり、1コーナー進入までに紳士的かつ安全に2列縦隊の隊列を整え、1コーナー先で待機しているペースカー（SC）の後に続いて走行する。

- ・スタート1周目は(天候や隊列等の状況によって周回数に変動)全周にわたり黄旗により追い越し禁止！  
ペースカー（SC）退去後も加速や追い越しをすることなく一定速度で走行し、スタートラインの信号灯がグリーンになり、同時に自車前方のポストでグリーンフラッグが振られた時点でコースの位置に関わらず全車追い越し可能となる。
- ・ローリング中の追い越し、スピン、フライングした場合はペナルティを科す。
- ・スタート要員は必ずサーキットに相応しくない仮装をし、ステッカーを剥がしたら安全のため速やかにガードレール裏に退避する。その後、オフィシャルの指示により移動を開始する。
- ・車両とスタート要員の待機位置は、当日の規定書で指示する場合がある。

## 9. コース上でトラブルの為の停止及びリタイヤ

安全確保の為、出来る限りコースから離れて車両を止め、オフィシャルの指示に従うこと。  
ヘルメットを被ったまま、速やかにガードレール又はタイヤバリヤの外側に非難すること。  
可能であれば、蛍光オレンジに塗られているガードレール開口部付近に停車させるか、開口部からサービスロードに車両を入れる。（開口部＝ガードレールとフェンスが途切れている場所）

## 10. ピットロードの速度制限

ピットロードの速度制限は60km/hとする（速度に関しては主催計測）。  
スピード違反は運転していた個人に対して、1回につき反則金5,000円を徴収する。

## 11. ドライバーの装備

アクシデント発生時、自分自身の身体を守るための装備であり、JAFの安全規定に沿った装備が望ましく、極力その規定に近づけた装備で参加する努力をしてください。

- ・いかなる場合も肌を露出させてはならない。
- ・耐火性レーシングスーツ、レーシングギアを強く推奨する。  
用意できない場合は綿100%のツナギとする。  
ツナギ形状以外の装備は認めない。
- ・フェイスマスク及び難燃性下着を強く推奨し、用意できない場合は綿製を着用すること。
- ・肌の露出をしない為、腕まくりは禁止とする。
- ・グローブは難燃性の物とし、指が露出しないこと。

グローブについては、2019年度より市販レーシンググローブのみの使用とする。

（それまでの2年間は移行期間とする）

- ・ヘルメットも含め、モータースポーツを行う上で、安全のための常識的な装備を用意すること。  
（半キャップヘルメットは使用禁止。）

・走行中は腕ベルトを必ず着用する。

腕ベルトはシンプソン製又は、主催者の用意した物(有償)を使用すること。

(腕ベルトの装着方法は、ホームページのレギュレーションページにて確認すること。)

## 12. ペナルティ

(1) 黄旗の無視、スタート時のフライング、ホワイトラインカット、危険走行等、黒旗が提示された車両は以下のペナルティを受ける事。

ペナルティの対象となった場合、ピットロードに進入しコントロールタワー前で停止後、オフィシャルの指示に従うこと。

(2) 黒旗が提示された車両が 15 分を超えた場合、周回数の減算。場合により失格もあり得る。

(3) オレンジボールのついた黒旗を 3 周以上無視した場合 (1) のペナルティとなる。

5 周以上にわたり無視し続けた場合、失格もありえる。

(4) ピットロードと給油ゾーンの速度制限オーバーは、1 回につき反則金 5,000 円を徴収する。(速度計測は主催者の計測による)

(5) ライセンス未取得者の参加が発覚した場合、そのチームは即時退場となる。

また、チームは永久追放、当日参加していたそのチームのライセンスホルダー全員 K4GP ライセンスの取り消しとなる。

(6) リーダーミーティングへの遅刻、欠席の場合出走を認められない可能性がある。

その他は主催者の判断による。

※A パドック内駐車違反、コース上旗無視等ルールを守れないチームに対しては、次回エントリー受付時に加味し次回エントリーを受理しない場合もあります。

(仮ナンバーの目的外使用、K4-GP 関連イベント等での非常識行為等)

## 13. その他

いかなる場合であっても、コース内で停止して待機禁止。

但し、競技終了直前に燃料調整等が必要な場合は、競技終了 30 分前より最終コーナーの P14～P15 のアウト側ランオフエリアにて待機することが可能。

ピット及び上記の場所以外での待機は、ペナルティの対象となる。(競技前のブリーフィングの指示を必ず守ること)

特にストレート上での停止は重大な事故が起こる可能性があるため、厳禁とし、厳重なペナルティを科す。

補足：コース上でやむを得ずスロー走行となる場合、後方車両に注意して、できる限りコース右側に寄って走行をすること。また、スロー走行時にはハザードランプを点灯する。(ウインカーのない車両はバックフォグを点灯すること)

コース上でバックギアの使用は禁止。(給油コース・ピットロード等も含む)

スピンや危険回避のリカバリー以外で競技中にバックギアを使用しないこと。

レース終了は規定時間を経過した周回がファイナルラップ(最終周)となり、総合トップ車両がその周回を完了する時にチェッカーが振られます。

1000Km 耐久はスタートから 10 時間経過後、総合トップ車両がコントロールラインを通過した時点からチェッカーが振られる。

500Km 耐久はスタートから 5 時間経過後、総合トップ車両がコントロールラインを通過した時点からチェッカーが振られる。

天候により、燃料および時間、走行距離が変更になる場合がある。

以上の規定はイベント毎に変更になる場合があります。

その場合は、特別規則書を発行します。